

近世人物誌

やまと新聞附録

河瀬某の妻
河瀬某、江州丹波の藩士に
て夙に才名あり文學に通じ
武事を習ひ殊に慷慨して
夏世の志ありて文久慶應
の際尊王攘夷の説盛んに興り
志士勃興して天下騷擾す
慶應元年五月長藩議を幕
府に得たり將軍家茂自ら
長藩を征せんとして其の進發
の期に當り河瀬同志數十名
と長藩の藩士を論じ其の
曲直を申明せんと欲す言聲
られずして幕府の縛する所
となる河瀬の妻は年少く姿
自美りて固より賢夫人の
聞えありて藩主の固より下り
行々戮せられんとするを悲
しみて自らの双子伏して死
せりとせん



等々
五
[Red Seal]

發行所 東京 京橋区 尾張町二丁目 或野 水戸 伏見
やまと新聞社

聖國活